



# 株主通信

第216期 2023年4月1日~2024年3月31日

[ 証券コード:3106 ]

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
当社グループの事業概況	3
トピックス	5
サステナビリティ	7
財務情報	8
株式情報・会社情報	9
株主メモ	巻末

# 株主の皆様へ

## 社長交代のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの第216期連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の概況報告に先立ちまして、社長交代のご報告を申し上げます。

2024年6月25日開催の第216回定時株主総会および取締役会の決議を受けて、前取締役社長である藤田晴哉が取締役会長に、後任の取締役社長に西垣伸二が就任いたしました。

新たな経営体制のもと、2025年度から始まる次期中期経営計画の策定とその実行を通じて、当社グループの持続的な成長と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

取締役会長 藤田 晴哉

取締役社長 西垣 伸二



取締役会長  
藤田 晴哉

取締役社長  
西垣 伸二

## 新社長の略歴

氏名	西垣 伸二(にしがき しんじ)
出身地	兵庫県
略歴	1962年7月11日生(61歳) 1986年3月 関西大学 商学部 商学科 卒業 1986年4月 入社 2014年6月 産業資材部長 2018年4月 産業資材部長 兼 熊本事業所長 2018年6月 執行役員 2022年6月 常務執行役員 2023年6月 取締役・常務執行役員 2024年6月 代表取締役・取締役社長(現任)



## 連結業績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により経済活動の正常化が進みましたが、物価上昇により個人消費が伸び悩むなど、景気は回復基調ではあるものの力強さに欠ける状況でした。

当社グループの成長・注力事業である高機能樹脂加工品等の販売先の半導体製造関連市場は調整局面に入り減速しましたが、当連結会計年度末にかけ、徐々に回復基調となりました。また、自動車市場におきましても、半導体不足による減産影響も取り総じて回復基調となる一方、繊維・衣料品市場は、暖冬の影響もあり回復が遅れています。

このような環境下にあって当社グループは、現在進行中の中期経営計画「Progress'24」(2022年度-2024年度)の基本方針である「高収益事業の拡大と持続可能な成長に向けた基盤事業の強化」のもと、半導体製造関連や機能フィルムといった成長・注力事業の業容拡大と繊維や軟質ウレタンをはじめとする基盤事業の収益力強化などに注力しました。

この結果、売上高は1,513億円(前年同期比1.4%減)、営業利益は91億8千万円(同5.9%増)、経常利益は101億9千万円(同1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は67億3千万円(同22.1%増)となり、各連結利益において過去最高を更新しました。

今後の経済情勢につきましては、賃金・物価の循環的上昇により緩やかに成長するものと思われませんが、外需面では中国経済の低迷や中東情勢の緊迫化による物流や資源価格への影響などが懸念されます。

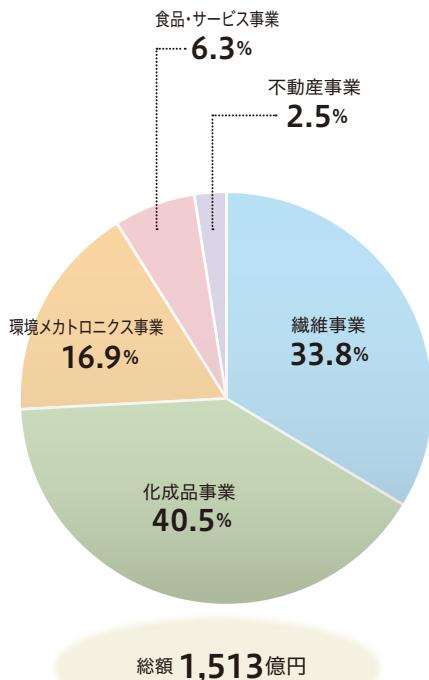
当社グループでは、「イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループ」を目指す「長期ビジョン2030」のセカンドステージにあたる中期経営計画「Progress'24」が進行中であり、高収益事業体制の確立に向けて、成長市場における注力事業へ経営資源を集中するとともに、基盤事業の収益力強化に取り組んでおります。

このような経営環境のなかで、賃金や物流コストの上昇や原燃料価格の変動リスクへの対応が、継続的な課題であり、引き続き、価格転嫁やコストダウンを進めてまいります。



# 当社グループの事業概況

## 事業セグメント別売上高構成比率



### 繊維事業

糸は、原料改質技術を活用した高機能製品「NaTech(ネイテック)」が順調に推移しましたが、ブラジル子会社が市況悪化の影響を受けて低調で、また、タイ子会社のデニム向けやインドネシア子会社のインナー向けおよび靴下向けの受注が減少し、減収となりました。

テキスタイルは、ユニフォーム向け素材は、為替の影響等によるコストアップの価格転嫁を進めたものの、受注が伸び悩み低調に推移しましたが、カジュアル向け素材は、店頭販売が好調な製品用の追加発注などもあり、増収となりました。

繊維製品は、顧客の在庫調整などの影響を受けて受注が減少し、減収となりました。この結果、売上高は511億円(前年同期比9.6%減)、コストアップの影響もあり営業損失は2億5千万円(前年同期は営業利益3億円)となりました。

#### 繊維事業

●糸、テキスタイル、繊維製品(縫製品等)の製造・販売



### 化成品事業

軟質ウレタンは、自動車内装材向けでは、中国子会社が低調に推移しましたが、自動車生産の回復などに伴い国内およびブラジル子会社の受注が順調で、原燃料価格高騰によるコストアップの価格転嫁も進めた結果、増収となりました。

機能樹脂製品は、半導体需要の鈍化の影響を受けた半導体製造装置向け高機能樹脂加工品の受注が減少しましたが、太陽電池や自動車向けの機能フィルムの受注が回復し、増収となりました。

住宅用建材は、断熱材の販売が順調に推移しましたが、防熱工事が減少したことにより、減収となりました。

不織布は、マスクや自動車用フィルター向けの受注が減少し、減収となりました。この結果、売上高は613億円(前年同期比2.7%増)、営業利益は39億6千万円(同6.7%増)となりました。

#### 化成品事業

●軟質ウレタン、機能樹脂製品(機能フィルム、高機能樹脂加工品)、住宅用建材(合成木材、無機建材、硬質ウレタン)、その他(不織布、機能資材)の製造・加工・販売



## 環境メカトロニクス事業

エレクトロニクスは、基板検査装置は低調に推移しましたが、部品供給不足の緩和により膜厚計および液体成分濃度計などが順調で、また、子会社でも半導体洗浄装置の大型案件があり、増収となりました。

エンジニアリングは、排ガス処理設備や半導体業界向け薬液供給装置が順調に推移し、また、子会社でも医薬品製造業界向け設備の大型案件があり、増収となりました。

バイオメディカルは、攪拌脱泡装置の海外向け販売が好調で、増収となりました。工作機械は、工作機械等の製造販売を行っていた倉敷機械㈱の全株式を譲渡したことにより、当第4四半期連結会計期間間は連結対象から除外され、減収となりました。

この結果、売上高は255億円(前年同期比5.2%増)、営業利益は35億7千万円(同26.1%増)となりました。

### 環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス(色彩・生産管理等に関する情報システム機器、検査・計測システム)の製造・販売・保守
- エンジニアリング(環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業)
- その他(バイオ関連製品)の製造・販売



## 食品・サービス事業

食品は、外食需要の回復に伴う内食需要の低下や小売り価格の値上げによる買い控えの影響を受け、即席麺具材や成型スープなどが低調で、減収となりました。ホテル関連は、宿泊が行動制限の撤廃やインバウンド需要などによる客室稼働率および客室単価の上昇により好調に推移し、宴会やレストランも回復傾向となり、増収となりました。

この結果、売上高は95億円(前年同期比3.0%増)、営業利益は6億4千万円(同38.4%増)となりました。

### 食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか



## 不動産事業

不動産賃貸は、新規の賃貸開始により売上高は37億円(前年同期比1.8%増)となりましたが、修繕費の増加などにより営業利益は23億3千万円(同4.1%減)となりました。

### 不動産事業

- 不動産の賃貸

## コーポレートサイトのご案内

コーポレートサイトでは、会社案内や、ニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しています。

「株主・投資家情報」では、当社グループの中期経営計画、IR資料、株式情報、財務情報など、株主・投資家の皆様のお役に立つ情報を提供しています。

「株主・投資家情報」のページ <https://www.kurabo.co.jp/finance/> ▶▶▶



繊維  
事業部

## ASEANを中心とした 海外展示会に積極的に出展

繊維事業部は、ASEANの生産拠点を活用した海外での販売拡大を図るため、海外関係会社と共同で海外展示会に積極的に出展しています。



VIATTのクラブウブース

本年2月28日～3月1日にベトナム・ホーチミンで開催された「VIATT(ベトナム国際アパレルファブリックス&繊維関連技術専門見本市)」では、繊維事業部からは、機能性コットン素材“NaTech(ネイテッ

ク)”や、クラブウ独自のアップサイクルシステム“L∞PLUS(ループラス)”、さらに防災素材の“PROBAN(プロバン)”“BREVANO(ブレバノ)”等を出展、クラブウ・ベトナム(有)やタイ・クラブウ(株)もそれぞれの会社が注力する商品を展示し、ASEANを中心とする来場者から好評価を得ることができました。この他、本年3月には中国・上海での「インターテキスタイル上海2024」やインドネシア・ジャカルタでの「INATEX2024」、6月にはタイ・バンコクで開催された「THAILAND SAFE@WORK」にも出展。高機能、独自技術といったクラブウがもつ従来の特長に加え、顧客のニーズにきめ細かく対応できる柔軟な生産体制等も具体的にアピールしました。今後も、海外の展示会を積極的に活用して、海外を含めた新たな顧客の獲得により販売の拡大を目指します。

化成品  
事業部

## フッ素樹脂素材の生産設備を 寝屋川工場に導入し、高機能 樹脂製品の生産能力を増強

化成品事業部は、大型プレス機や焼成炉など高機能樹脂製品の製造に使用するフッ素樹脂素材の生産設備を寝屋川工場(大阪府寝屋川市)に新たに導入し、本年10月から順次操業を開始する予定です。

成長市場である半導体分野での事業拡大に向け、現在、熊本事業所(熊本県菊池市)では新棟の建設に着手しており、操業開始を予定する2025年4月からは、高機能樹脂製品の生産能力を現状の2倍以上



大型プレス機

に増強します。この生産能力増強に向けて、寝屋川工場への設備投資を行い、高機能樹脂製品の原料となるフッ素樹脂素材の内製化



フッ素樹脂素材

を進めることにより、調達の安定化を図ります。また、現在、熊本事業所で行っているフッ素樹脂素材の生産を寝屋川工場へ集約することにより、生産の効率化も図ります。今回の寝屋川工場への設備導入と生産拠点の集約によりフッ素樹脂素材の供給能力拡大を図り、熊本事業所の新棟活用と合わせて、高機能樹脂製品の生産能力増強につなげてまいります。

詳しくはコーポレートサイトをご覧ください。  
[https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240306\\_1207.html](https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240306_1207.html)



環境  
メカトロニクス  
事業部

[バイオメディカル分野]

## 攪拌脱泡装置“MAZERUSTAR” の販売が好調!

環境メカトロニクス事業部のバイオメディカル部が販売する攪拌脱泡装置“MAZERUSTAR (マゼルスター)”の販売台数が着実に増加しています。

“MAZERUSTAR”は、装置の中に入れた材料を混ぜる際に自転と公転を同時に行うことにより、混ぜりにくい材料をしっかり攪拌することができ、さらに気泡を発生させにくいことに加え、材料に含まれる気泡を除去できるという特長を持っています。少量の材料を混ぜるの



最も販売台数が多い主力機  
“KK-400W”

に適している小型機から、量産に使用できる大型機まで幅広いラインアップを揃えており、これまで美容・化粧品や自動車など、様々な業界で使用されています。

昨年5月にドイツで行われたヨーロッパ最大規模の電池関連技術の展示会「The Battery Show Europe」への出展をきっかけに、EV(電気自動車)バッテリー関連メーカーにおいて、電池材料の研究開発用途で“MAZERUSTAR”の導入が進みました。その他にも、海外の薬局における薬剤の調合や、美容・化粧品の研究開発においてもニーズが増加しており、売上が順調に推移しています。

バイオメディカル部では、高速3Dビジョンセンサー“KURASENSE(クラセンス)”や自動計量装置と組み合わせたシステムとしての販売も進めており、さらなる売上の拡大を図ります。

“MAZERUSTAR”の概要紹介ページ

<https://www.kurabo.co.jp/bio/mazerustar>



関係会社  
クラシキ・ケミカル  
プロダクツ・ド  
ブラジル(有)

## ブラジルでの 軟質ウレタンモールド製品の 生産能力を2倍に増強

クラシキ・ケミカル・プロダクツ・ド・ブラジル(有)(以下、KCB)は、ブラジルの自動車市場における本格的な回復を見据え、生産ラインの増設を行います。

KCBでは、カーシートやヘッドレストなどの自動車内装材向け軟質ウレタンモールド製品の生産・販売を行っています。2010年の設立当初からブラジルに進出する日系メーカーを中心に営業活動を展開してきましたが、昨今では日系のみならず欧米やアジアのメーカーからも採用され、順調に

受注量が拡大してまいりました。ここ数年低迷が続いていたブラジルの自動車市場は、回復基調へと反転しつつあり、既存顧客の増産や新規顧客の開拓などによるさらなる拡販が見込まれるため、今回の設備投資により生産能力を現状の2倍に増強します。

新たな生産ラインは2025年5月からの稼働を予定しており、さらなる受注拡大を目指します。

詳しくはコーポレートサイトをご覧ください。

[https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20231127\\_1184.html](https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20231127_1184.html)



生産ライン





## 地域社会における繊維製品の資源循環を促進

クラブウは、B.LEAGUE B1に所属するプロバスケットボールチーム「シーホース三河」、愛知県安城市、(株)安城スタイルの4者で、本年3月、応援グッズのアップサイクルプロジェクト

「青援 LOOP(せいえんループ)」を開始し、地域社会における繊維製品の資源循環を促進しています。



シーホース三河の応援シーン

昨年、クラブウと安城市、(株)安城スタイルの3者で、安城市内で回収した不要な衣類を、安城七夕まつりのボランティアスタッフが使用するマフラータオルにアップサイクルするプロジェクトを実施しました。今回、その第2弾として、愛知県の三河エリアをホームタウンとするプロバスケットボールチーム「シーホース三河」を加えた4者で「青援 LOOP」に取り組みました。

「青援 LOOP」は、ゲーム会場等で回収したシーホース三河のファンの皆様が使用しなくなった応援グッズ(Tシャツ、タオル等の繊維製品)を、安城市の社会福祉法人「ぬくもり福祉会」が運営する福祉施設に運び、(株)



回収シーン

安城スタイルのサポートのもと、入所者の方々の手作業によって、アイテムの選別と再資源化に不要な付属品を除去。その後、クラブウ安城工場で当社独自のアップサイクルシステム“L∞PLUS(ループラス)”を活用し、応援グッズ用の糸として再資源化。その糸を

使い、新しい応援グッズ(スポーツタオル)にアップサイクルするプロジェクトです。応援グッズは、本年10月頃のB.LEAGUE 2024-25シーズンの開幕に合わせて、シーホース三河のホームゲーム会場やオフィシャルオンラインショップ等で販売される予定です。

クラブウは、今後も“L∞PLUS”を活用し、企業や自治体、消費者などをつなぎ合わせ、循環型社会の実現を目指してまいります。



詳しくはコーポレートサイトをご覧ください。  
[https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240305\\_1206.html](https://www.kurabo.co.jp/news/newsrelease/20240305_1206.html)



## 「令和6年能登半島地震」被災地・被災者支援

クラブウグループは、本年1月に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された方々への支援や被災地の復興にお役立ていただくために、日本赤十字社、倉敷商工会議所に義援金 総額800万円を寄付しました。被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

# 財務情報

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)	科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	84,771	89,320	流動負債	46,030	44,055
固定資産	89,315	103,469	固定負債	25,149	30,659
有形固定資産	47,176	44,646	負債合計	71,179	74,714
無形固定資産	1,447	1,717	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	40,690	57,104	株主資本	95,910	98,788
資産合計	174,086	192,789	その他の包括利益累計額	5,424	18,061
			非支配株主持分	1,572	1,225
			純資産合計	102,907	118,074
			負債純資産合計	174,086	192,789

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	当連結会計年度 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
売上高	153,522	151,314
売上原価	124,077	120,985
売上総利益	29,445	30,328
販売費及び一般管理費	20,768	21,142
営業利益	8,676	9,186
営業外収益	2,259	1,871
営業外費用	910	866
経常利益	10,024	10,191
特別利益	627	1,701
特別損失	3,034	1,375
税金等調整前当期純利益	7,618	10,517
法人税等	2,047	3,795
当期純利益	5,571	6,721
非支配株主に帰属する当期純利益又は 被支配株主に帰属する当期純損失(△)	54	△16
親会社株主に帰属する当期純利益	5,516	6,738

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	当連結会計年度 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,516	12,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,969	△387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,581	△6,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	321	238
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,713	5,763
現金及び現金同等物の期首残高	14,073	10,360
現金及び現金同等物の期末残高	10,360	16,123

# 株式情報・会社情報

## 当社の株式に関する事項 (2024年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 97,701千株
- 発行済株式の総数 19,000千株
- 株主数 13,087名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,665	9.20
日本生命保険相互会社	920	5.08
株式会社みずほ銀行	782	4.32
株式会社中国銀行	726	4.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	623	3.44
株式会社三井住友銀行	559	3.08
クラボウ共栄会	335	1.85
三井住友信託銀行株式会社	317	1.75
倉敷紡績従業員持株会	272	1.50
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	271	1.49

(注) ①当社は、自己株式を897千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 当社グループの概要 (2024年3月31日現在)

### 当社

- 創立 1888年3月9日
- 本店 岡山県倉敷市本町7番1号
- 主要な事業所

区分	名称	所在地
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区
	東京支社	東京都港区
	技術研究所	大阪府寝屋川市
工場	織維	安城工場 愛知県安城市
		徳島工場 徳島県阿南市
		寝屋川工場 大阪府寝屋川市
	化成品	裾野工場 静岡県裾野市
		群馬工場 群馬県伊勢崎市
		鴨方工場 岡山県浅口市
		三重工場 三重県津市
	熊本事業所 熊本県菊池市	

### 当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 3,899(△290)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー982人がおります。

## 当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
	クラボウケミカルワークス(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マングアル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
	広州倉福塑料有限公司

(注) ①上記記載の重要な子会社12社を含め、当連結会計年度の連結子会社は22社、持分法適用会社は2社であります。  
②2024年1月をもって、当社の重要な子会社であった倉敷機械(株)の全株式を譲渡しました。

## 当社の取締役 (2024年6月25日現在)

代表取締役会長	藤田晴哉	取締役員	藤井裕詞
代表取締役社長	西垣伸二	取締役員	岡田治
取締役員	北畠篤	取締役員	茂木鉄平
取締役員	馬場紀生	取締役員	新川大祐
取締役員	川野憲志	取締役員	西村元秀
取締役員	稲岡進	取締役員	谷澤実佐子

(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐、西村元秀および谷澤実佐子の4氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

## 当社の執行役員 (2024年6月25日現在)

常務執行役員	相徳朗人	執行役員	磯部将典
常務執行役員	中川眞豪	執行役員	森松禎文
執行役員	平田政弘	執行役員	小松亮
執行役員	松井一雄	執行役員	山内一平
執行役員	森重潔	執行役員	中野正志
執行役員	黒澤昭夫	執行役員	西井昌一
執行役員	丸毛浩嗣		

# 大原孫三郎の 志を今に伝える 記念館

2023年3月に一部リニューアルしました



G7倉敷  
労働雇用大臣会合で  
見学いただきました!

## 倉紡記念館



<https://www.kurabo.co.jp/museum/>

岡山県倉敷市本町7番1号 (JR倉敷駅より徒歩15分・倉敷アイビースクエア内)

TEL (086) 422-0011

●公開時間 AM.10:00 ~ PM.4:00 ●入館料 個人:一般300円/学生250円

クラボウ第2代社長  
大原 孫三郎

株主の皆様へ このページを倉紡記念館の受付で提示していただくと、無料で入館いただけます。  
<有効期限> 2025年3月31日まで

## 株主メモ

- |                                                                                                                                                             |                   |                      |                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ●事業年度                                                                                                                                                       | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | ●単元株式数               | 100株                                                                              |
| ●定時株主総会                                                                                                                                                     | 毎年6月              | ●株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                     |
| ●基準日                                                                                                                                                        |                   | ●同連絡先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>電話 0120-094-777 (通話料無料) |
| (1)定時株主総会・期末配当金                                                                                                                                             | 毎年3月31日           |                      |                                                                                   |
| (2)中間配当金                                                                                                                                                    | 毎年9月30日           |                      |                                                                                   |
| ●公告の方法                                                                                                                                                      |                   |                      |                                                                                   |
| 電子公告の方法により行います。<br>公告掲載URL <a href="https://www.kurabo.co.jp">https://www.kurabo.co.jp</a><br>※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を<br>することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |                   |                      |                                                                                   |

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。